

現場レポート

大阪～北九州間に就航するフェリーの新造船が進水
～モーダルシフトの進展と新たな旅行需要の獲得に期待～



支綱切断後、船台をスルスルと滑りながら関門海峡に向けて進水していく姿は圧巻です。



船首に刻まれた「フェリーきょうと」の文字。



関係者が参列した命名・進水式で、本船を「フェリーきょうと」と命名した、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構の重富理事



竣工後の全体イメージ。白と青を基調にした船体が、瀬戸内海や瀬戸大橋を背景に映える姿が想像されます。

